

馬崎正樹

しんまざき

歌人。

天保二年五月四日信濃國曲筑摩郡神坂村馬籠

生れ、明治十九年十一月二十九日歿（二八三―一六八）。講重寛、字禎夫、

通稱銀名太郎、宮之丞、積二郎、積藏。號松翠園、璞堂、觀山樓、觀

齊等。初め美濃の間秀矩に學び、のち馬籠馬崎庵に就く。文久二年秀矩

の紹介で平田篤胤歿後門人となり國學を修めた。維新後戸長學事掛、

神坂敬義學校教諭、明治七年教部省出任、翌年岐阜の水無神社宮司、

權中講義に任じられた。數年後辭して歸郷、行幸獻言して隱居せられた、

憂國痛憤の極み狂き發して歿す。馬崎藤村はその季子。

歌集『松ヶ枝』がある。



（筆絶）

以不勝憂國之  
情澹慷慨之淚  
之士為發狂之  
人豈其不悲乎  
無識人之眼亦  
已甚矣

觀齊